

「本部」暴力集団のスト破壊を粉碎！



日刊 動労千葉

80.4.20 全国版 No. 49

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(電話)二九三五(六・公衆)三三三二七三〇七

4/15 津田沼拠点防衛し 16 決戦ストを貫徹！

八〇春闘は、公労協と私鉄との分断、賃上げ抑制をはかろうとする政府・自民党の公労委に対する不当介入・圧力に対し、公労委労働者側委員の辞任↓公労委の調停不能↓スト中止という春闘史上かつてない事態となっています。こうした中で、われわれ動労千葉は、四月決戦四・一五〜一六の闘いを動労「本部」革マル反動分子の権力・当局一体となった津田沼拠点破壊一八〇春闘破壊攻撃を完全に粉碎し、低額回答打破、ストなし策動をはねのけ、文字通り激動の八〇年代の突破口としての八〇春闘を断固闘い抜きました。

「本部」革マル反動分子の「4・17型暴力襲撃」 80春闘破壊策動の実態

「本部」革マル反動分子は、八〇春闘決戦直前の四月十四日、津田沼電車区内の他局からの短期転勤者と東洋大学生革マル出身の嶋田某ら数名の裏切り分子をもって、動労の規約・規則にもない「本部」直属の「特別班」なるものを急ぎよデッチ上げ、八〇春闘破壊スト破りの「拠点」とせんとしてきました。

そして、この「特別班」をよりどころとして四月十五日、十六時三十分、わが動労千葉のスト拠点・津田沼支部に「本部」革マル反動分子二百名がヘルメット、竹竿で武装して押し入ってきたのです。

こうした「本部」革マル反動分子による「四・一七型暴力襲撃」策動に対し、動労千葉は、津田沼拠点防衛・ストなし春闘策動粉碎・八〇春闘勝利の決意を込め、「動労千葉総決起集会」を津田沼電車区で開催しました。

十七時三十五分頃、動労千葉は各支部から続々と結集してくる組合員のため先着部隊を津田沼支部組合事務所前から庁舎玄関方向にデモ行進で移動しようとしたところ、庁舎玄関前になすこともなくたむろしていた「本部」革マル反動分子は、何を血まよったのか、竹竿と投石をもって動労千葉の部隊に襲いかかってきたのです。そして、青年部員A君に鼻骨折の重傷を負わせるなどの多数の負傷を出すという蛮行をはたらいたのです。

動労千葉の圧倒的な隊列と気迫に恐れをなし、恐怖にかられて投



「津田沼拠点を防衛し、4・16決戦ストをうちぬくぞ！」
(4月15日 津田沼電車区)

「本部」反動集団の暴力襲撃をうち破り、
4・16ストを貫徹した津田沼支部。